

事業所名：グループホーム東陽館

作成日：令和 元年 12月 23日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 13 | 継続して外部研修に派遣することができたが、他の職員へ伝達することがまだ徹底されていない。 | 研修で得た知識を、職員全員で共有できるようにする。 | ・研修報告の時間を設け、報告を徹底する | 6ヶ月 |
| 2 | 23 | 本人の思いをうかがうように努めているが、徹底されていないところがある。 | すべての利用者の思いを、すべての職員が理解したうえで介護に取り組むことができる。 | ・小さな情報でも、職員全員に伝わるよう、申し送りの徹底を行う ・QOL会議での情報交換の充実 | 6ヶ月 |
| 3 | 34 | 年2回の避難訓練は行っているものの、火災訓練のみで、地震や水害の訓練や計画の作成が不十分である。また、非常持ち出し品の準備が行われていない。 | 火災以外の災害対策を策定し、職員が非常時に速やかに行動することができる。 | ・火災以外の防災計画の策定 ・非常持ち出し袋、非常持ち出しリストの作成 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。